

外来腫瘍化学療法について

当院では、外来で抗がん剤治療を受ける患者様が、安心・安全に治療を継続するために、以下の体制を整備しております。

1. 医師、看護師又は薬剤師を院内に常時配置し、患者様からの電話等による緊急の相談に 24 時間対応できる連絡体制を整備しています。
2. 急変時等の緊急時に患者様が入院できる体制を確保しています。
3. 化学療法のレジメン(治療内容)の妥当性を評価し、承認する委員会を定期的に開催しています。当委員会は、化学療法に携わる各診療科の医師、看護師、薬剤師、管理栄養士等で構成されています。

後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用について

当院では、入院・外来診療ともに、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用を積極的におこなっています。

後発医薬品の採用に当たっては、品質、安全性、安定供給等の情報を収集・評価し、採用決定する体制を整えています。また、医薬品の供給が不足した場合には、治療計画の見直し等、適切な対応ができる体制を整えています。状況によっては、同効薬に変更する可能性もありますが、変更が必要な場合は患者様に十分ご説明した上で変更しますので、ご理解をお願いします。

なお、ご不明な点がございましたら、主治医または薬剤師にお尋ねください。

救急外来を受診される皆様へ

**救急当番日においては、救急外来で診療に先立ち
看護師による「トリアージ」を行っています。**

「トリアージ」とは、患者様の緊急度・重症度を判断し、より早期にケアを要する患者様から優先して診療する方法です。

来院された順番に診療する体制とは異なり、緊急度の高い患者様を優先するため、診療の順番が前後することがありますが、円滑な救急外来診療にご理解とご協力をお願いいたします。

一般名処方と長期収載品の選定療養について

【一般名処方】

患者さんが円滑に医薬品を受け取れるよう、お薬を一般名にて処方します。

現在、医療用医薬品の一部品目において、製造・供給の停止や出荷調整が相次いでおります。

院外処方せんで「メーカーの販売名」を指定すると、調剤薬局によっては在庫がない場合がありますので、一部医薬品においては院外処方せんを「メーカーの販売名」ではなく医薬品の有効成分を表す一般名処方としています。

一般名処方を行う場合には、安心して服用いただけるように十分に説明させていただきますので、趣旨をご理解いただきますようお願いいたします。

【長期収載品の選定療養】

患者さんの希望で長期収載品（同じ効果を持つ後発医薬品が発売されている先発医薬品）を選んだ場合に、薬価の差額の一部を患者さんが負担する長期収載品の選定療養の制度が2024年10月に導入されました。

ただし、医師が医療上の必要性があると判断した場合や、供給状況により後発医薬品の提供が困難な場合などは、選定療養の対象外となります。ご不明な点をご相談ください。

医科点数表第2章第10部手術の通則の5及び6に掲げる手術
(施設基準による令和6年の手術の件数は次のとおりです。)

・区分1に分類される手術		手術の件数
ア	頭蓋内腫瘍摘出術等	3
イ	黄斑下手術等	0
ウ	鼓室形成手術等	0
エ	肺悪性腫瘍手術等	0
オ	経皮的カテーテル心筋焼灼術	32

・区分2に分類される手術		手術の件数
ア	靱帯断裂形成手術等	19
イ	水頭症手術等	4
ウ	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	0
エ	尿道形成手術等	0
オ	角膜移植術	0
カ	肝切除術等	14
キ	子宮附属器悪性腫瘍手術等	5

・区分3に分類される手術		手術の件数
ア	上顎骨形成術等	0
イ	上顎骨悪性腫瘍手術等	0
ウ	バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）	0
エ	母指化手術等	0
オ	内反足手術等	0
カ	食道切除再建術等	0
キ	同種死体腎移植術等	0

・区分4に分類される手術の件数	232
-----------------	-----

・その他の区分に分類される手術		手術の件数
人工関節置換術		112
乳児外科施設基準対象手術		0
ペースメーカー移植術及び ペースメーカー交換術		30
冠動脈、大動脈バイパス移植術(人工心肺を使用しないものを含む。)及び体外循環を要する手術		0
経皮的冠動脈形成術		121
うち 急性心筋梗塞に対するもの		18
うち 不安定狭心症に対するもの		13
うち その他のもの		73
うち 特殊カテーテルによるもの (高速回転的経皮経管アテレクトミーカテーテルによるもの)		17
経皮的冠動脈粥腫切除術		0
経皮的冠動脈ステント留置術		17
うち 急性心筋梗塞に対するもの		0
うち 不安定狭心症に対するもの		5
うち その他のもの		12

手術の件数は、平成6年1月～令和6年12月の1年間の実績です。

施設基準により届出を行っている令和6年の分娩の件数は次のとおりです。

年間分娩件数	382
常勤の産婦人科医指数	6
常勤の助産師数	16

分娩の件数は、令和6年1月～令和6年12月の1年間の実績です。

医療情報取得加算について

当院では、オンライン資格確認を行う体制を整備しており、マイナンバーカード等を利用した受診歴、薬剤情報、特定検診その他必要な情報を取得・活用して診療を行っています。

医療 DX 推進体制整備加算について

当院では、以下の取り組みにおいて、医療DXを通じて質の高い診療体制を整備しています。

- ①医師等が診療を行う診察室等において、オンライン資格確認等システムにより取得した診療情報等を活用して診療をしています。
- ②マイナ保険証利用を促進する等、医療DXを通じて質の高い医療を提供できるよう取り組んでいます。
- ③電子処方箋の発行等、医療DXにかかる体制を整備しています。